

董中学校のみなさん、おはようございます。7月4日土曜日に大阪市立の小学校中学校に先駆けて Teams による「オンライン学習」を実施いたしました。実施にあたりご協力いただいた3年生のみなさん、ありがとうございました。当日は、Teams を開発したマイクロソフト社の社員の方や大阪市教育委員会の方、他の中学校の先生、そしてテレビ局や新聞社の記者の方達など30名以上の方々が来校され、Teams による「オンライン学習」の実施の様子をご覧になられましたが、みなさんの学習の姿勢に感心されていました。さらに、当日、本校の Teams による「オンライン学習」の授業に取り組む先生たちの様子を観察していたマイクロソフト社の方から『Teams による「オンライン学習」を進めるために日本全国の小学校中学校を見て回っているが、董中学校の先生たちの取り組む姿勢はすばらしく、感動しました。一部の先生だけが熱心に取り組むのではなく、すべての先生が生徒のみなさんのために一生懸命取り組んでおられる。すばらしいことです。』と称賛の言葉を頂きました。

一部の人間だけが頑張る1人の百歩よりみんなで協力して成し遂げる百人の一歩が大切です。これからも私たちは「チーム董」としてみなさんの学習をサポートします。同じようにみなさんが、安心・安全に学校生活を送っていただくためには、みなさん全員の協力が、とても大切です。

それでは、そのみなさんの協力が不可欠な「いじめ」についてお話をさせていただきます。

平成28年8月の子ども市会において、子ども議員から「いじめについて考える日」の設定についての提案が市長にされたことを受け、平成30年度から大阪市は「いじめについて考える日」を設定し取り組んでいます。今年度は、5月11日の月曜日が「いじめについて考える日」と設定されていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業が継続中だったため、6月29日から7月10日までの間で「いじめについて考える日」を各学校で設定することになりました。そこで、本校では、本日7月6日の月曜日を「いじめについて考える日」とすることにしました。昨年はいじめを生まない意識を高めてもらうために全校集会でお話しさせていただきました。これからお話しする内容は、すでに学校休業中にホームページで紹介していますが、もう一度、みなさんにお伝えさせていただきます。

『ゴールデンウイークが明けた月曜日は、新学期が始まる日と同じように命を絶つ児童生徒が生まれやすい特異日であることもあり、「いじめについて考える日」がこの日に設定されました。4月からの緊張感が続いて疲れが残り、5月は様々な行事に向けた取り組み等が重なり、不安感が募る時期もあります。そうしたことから他者を傷つけるようなことばや行動のリスクが高まります。同じように現在の状況は、3か月に亘る学校休業から学校が再開され、梅雨特有の蒸し暑さや感染予防のためのマスクの着用から疲労感が積み重なり、精神的にも肉体的にも疲労感が増してきている人も多いと思います。新型コロナウイルス感染症については、収束の見通しが不透明で、感染拡大の第2波も懸念されています。目に見えないウイルスへの恐怖さらには感染への不安から逃れるための心理的なメカニズムにより、他者に対して攻撃的な言動にいたるようすが世界的な現象としてみられています。

本来、戦う相手はウイルスであるにもかかわらず、他者を非難し、排除しようとする残念な行動が発生しています。さらに、デマを含む様々な情報に一層不安感を募らせる人もいます。だからこそ今、大切にしてほしいことは、知りえた情報を冷静に分析し、判断する意識です。感染を予防し、この厳しい状況を乗り越えるためにも批判的な考え方陷入ことなく正確な知識と理解を深めてほしいと思います。感染を予防するため、ソーシャル・ディスタンス、もしくはフィジカル・ディスタンスとも呼ばれる人ととの距離についての行動が必要とされる中で、今まさに心の距離感が不可欠です。人間は、唯一ことばを発することで、相手との距離感をはかりながら仲間意識を醸成する「ヴォーカルグルーミング」により社会生活を営みます。ですから、ことばの持つ影響力はとても大きく、ことばによる心の傷は計り知れません。いじりや悪ふざけが、いじめにつながることを理解し、相手も自分も大切にするコミュニケーションはとても大切です。スマートフォンの普及により生徒のみなさんの中には、LINEなどを通じたやりとりをしている人も多いと思います。LINE等の文字による心ない表現やことばも相手に与える影響は大変なものとなります。LINE等をはじめSNSで辛い思いをする人がいないことを祈ります。学校は再開されましたが、「新しい生活様式」をふまえたガイドラインに沿いながら学校生活を送っていただくことが不可欠です。感染拡大防止のため、登校日には必ずマスクを着用し、大きな声での会話は控えていただくことになります。新型コロナウイルスは、私たちに何が大切かを考える機会を与えました。

そこで、みなさんはノンバーバル・コミュニケーションを大切にしてほしいと思います。これは、発声による会話ではなく、表情による会話です。感性豊かなみなさん一人ひとりの笑顔がフィジカル・ディスタンスによる物理的な距離を超えて、心の距離感を縮め、仲間意識を育むことができると考えています。生徒のみなさんの笑顔と人を大切に思いやる心で、学校が最も安心できる居場所となれば幸いです。本校の教職員並びにスクールカウンセラー・生活指導支援員も含め、私たちスタッフ一同生徒の皆さんを全力でサポートします。』

本日、「24時間子供SOSダイヤル」の案内をみなさんに配布します。不安や心配などの困りごとがあれば先生や「24時間子供SOSダイヤル」に相談していただければ幸いです。